

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・子育て交流サロン「わらべ」、「のぞみ」をもっとPRしてほしい。

子育て交流サロン「わらべ」、「のぞみ」をよく利用しています。

しかし、他のママさんたちはサロンのことを全く知らない人が多く、もったいないと感じています。

子どもが外に出かけられるタイミングになったとき、子連れで行ける施設をSNSで検索する方が多いと思います。市のHPや子育てガイドブックだけでなく、SNS、特に写真を利用しやすいInstagramで子育て施設が周知されるといいなと思います。

執行部

現在、市HPや広報つちうら、市公式LINE、Instagram、子育て支援ガイドブック、窓口チラシなどで子育て支援施設を周知しています。

今回のご意見をいただいて、子育て支援施設の周知に特化したInstagramが必要だと思いました。写真でリアルな施設の中や活動の様子をお伝えすることで、子育て世代に情報をPRしていきたいと思います。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・病児保育を充実してほしい。

育休から職場復帰して、子どもを保育園に預けています。子どもが発熱したときに、どうしても仕事を休めない場合もあり、病児保育が充実しているととても助かります。

執行部

現在、病児保育できると手を挙げていただいた病院が1か所あります。また、保育園に在園中のお子さんが体調不良となった際、保護者の方が迎えに来るまで保育・看護できる保育園が7か所あります。

いずれも限られた施設でしか対応できない状況ですが、このほかにファミリーサポート事業といって、子育ての手助けをしたい方が協力会員となり、病後児を預かるサービスもありますので、ご利用を検討いただければと思います。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・産後ケアを利用しやすくしてほしい。

産後ケアを利用させていただき、本当にとってもよかったです。

ただ、人気な施設だと申し込みから実際の利用までに1か月以上かかることもあり、もったいないなと感じています。また、申請するにも市役所の窓口に行かなければならず、産後の体だと大変です。1年間に最大7日間利用できるのですが、毎回窓口に行って同じチェックリストを書き、同じ質問をされると面倒にも感じます。

執行部

産後ケア施設は、現在11か所（令和8年1月現在）あり、人気の施設はお待ちいただいている状況です。

産後ケアのご利用については、担当の保健師が、産婦さんの子育ての悩みや希望する支援内容を把握して、必要な支援を判断するため、面談を実施しております。面談の内容に応じて早く利用いただけるよう調整も行っております。来庁が難しい場合は、訪問や電話での対応も可能ですので、ご連絡ください。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・子育て支援施設の各ルールを分かりやすくしてほしい。

近くに頼れる人が少なく、子育てしているときの孤立感が辛かったので、子育て交流サロンなどの子育て支援施設を利用できてとても助かっています。

①市内全ての子育て支援施設を利用したことがあるのですが、施設ごとに飲食可否、先生の有無など細かなルールや環境が異なっていて分かりづらい面があります。事前に施設のルールや雰囲気分かる Instagram があればいいなと思いました。

②身近にある公園にもインクルーシブ遊具を増やしていただき、歩いて行ける公園で遊ぶことができたらいいなと思います。

執行部

①子育て支援施設の案内は、市 HP 等で周知をしておりますが、今回ご意見をいただき、情報の一元化などに課題があると認識いたしました。いただいたご意見を踏まえ、改善していきます。

②公園遊具のインクルーシブ化は、現在市として取り組んでいるところです。ここ数年で乙戸沼公園、亀城公園にはインクルーシブ遊具等を設置してリニューアルしておりますが、他公園ではまだ古い遊具もあり、順次更新しているところです。引き続き遊具更新に取り組んでいきます。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・小一の壁をなくしてほしい。

子育て支援ガイドブックを全制覇する勢いで、子育て支援を活用させていただいています。土浦には、無料だったり、予約がなくても遊べる場所が多くあり、他の市町村ママから羨ましがられます。

現在、子どもは保育所に通っているのですが、小学校に上がるタイミングで「小一の壁」があるとよく聞きます。先輩ママさんは、夏休み中の学童のお弁当作りが大変だったなど、長期休みの期間はいろいろと大変だと話していました。例えば学童で給食を出していただくなど、市として働く保護者へのサポートを厚くしていただけると、今後も安心して土浦で子育てできると思います。

執行部

学童での給食提供については、夏休み期間等を利用して給食センターのメンテナンスを実施していますので、対応が難しい状況です。ある学童では、保護者会が主体となって民間のお弁当サービスと提携するなど、保護者の負担を軽減する取り組みに尽力されていると伺っています。

また、市のサービスを充実させるだけでなく、市内企業に対して、子育て世代が働きやすい環境を整えていただくよう、引き続き市として働きかけをしていきます。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

・市長の子育ての展望を教えてください。

今回のように、子育て世代の声が直接市長に届く機会があることで、これから土浦で子育てしていきたいと思いました。マタニティタクシー利用券や産後訪問、産後ケアなど市の子育て支援に支えられて、夫婦ともに共倒れせずにやってこられました。本当に感謝しています。

今後の市長の子育てに関する展望があればお聞きしてみたいです。

執行部

土浦で子育てしてよかったと思ってもらえるよう、様々な子育て支援事業を展開しています。保育所でのおむつ、お布団のサブスクなど、保護者の方の負担を減らすための新たな事業を通じて、笑顔で子育てが子どもたちが成長し、土浦で生まれ育ったことを誇りに思えるようなまちにしていきたいと考えていますので、引き続き様々なご意見をいただければと思います。

1月28日（水）子育て交流サロン「わらべ」

その他のご意見

▶一時保育が使いづらいです。使える時間が短かったり、そもそも予約がとりにくい現状があります。

執行部

一時保育預かりの予約状況によっては、予約が取りづらい場合もありますが、当日空きがあればお預かりできることもあるので、お問い合わせください。

来年度4月からは誰でも通園制度が始まりますので、今後はより利用しやすい形をご案内できると考えています。

その他のご感想

▶天川保育所に通っていて、先生方がとてもよく見てくれていますが、施設が古いので、新しくなったり、綺麗になってくれたらな、と思っています。